



大銀杏

根 城



南部師行公

2019年度 第5号

八戸市立根城中学校 令和元年8月27日発行

令和元年度体育祭

優勝一白軍 行進賞一白軍 応援合戦賞一青軍

8月25日、「百花繚乱～四つに染まりし我らの夏～」のテーマのもと、本校体育祭が行われました。昨年の土砂降りとは打って変わり、適度な気温、強くない日差し、心地よい風の中、テーマのごとく“活躍と感動の花が咲き乱れ、生徒の心がそれぞれの軍の色に染まった体育祭”となりました。結果は、上記のとおりです。

今年の体育祭は、2学期が始まってからの準備期間が3日しかなかったため、夏休みの最終日を全校出校日としました。短期間の中で、生徒会役員、各軍のリーダー、各係は、自分の果たすべき役割を全うし、大成功に導きました。

また、生徒一人一人が「ストップ熱中症、そして競技に熱中しよう！」のローガンを胸に自己管理に努めたため、大きく体調を崩すことなく、体育祭を満喫することができました。

右の写真の解説です。

上は各軍のマスコットです。紅軍は「百戦錬磨」、緑軍は「威風堂々」、青軍は「画竜点睛」、白軍は「獅子奮迅」を掲げて競技に臨みました。

下は結果発表を待つ各軍の団長です。頭上には水が入った風船が置かれ、4位から順に割られた風船から大量の水が落ちてくるものです。発表前は水をかぶるかもしれない恐怖に震え、発表後はかぶった水の冷たさに震えていました。

白軍団長の本間優樹君
緑軍団長の杉森琉羽君
紅軍団長の枋木海斗君
青軍団長の山本風心君
ポスター制作者の西澤萌さん
“百花繚乱”への大貢献に感謝します。



学校評価アンケート（1学期）の結果のお知らせ

保護者の皆様のご協力に感謝いたします。11項目についての結果は以下のとおりです。
＜生徒、保護者、教職員とも肯定的な回答（「よい」「ややよい」が8割を超えた項目＞
☆意欲的な授業

「主体的に学ぶ生徒の育成」を校内研の研究主題として研修を進めてきています。さらに、研修を進め、「主体的・対話的で深い学び」につなげていきます。

☆積極的な学級活動

学級での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、役割を分担して協力して自主的に実践することを計画的に進めます。

☆安心できる学校生活

日常の会話や観察、アンケート等から生徒の悩み等を早期に発見し、教職員の連携とスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携のもと早期解決を図るよう努めます。

☆生徒の努力を認める教職員

生徒一人一人を観察し、共感的な理解に心がけ、肯定的に受け止めます。生徒一人一人に積極的に関わり、生徒の存在感を高めるための働きかけをしていきます。

＜生徒、保護者、教職員のいずれかが肯定的な回答が8割に達しなかった項目＞

★明確な目標と計画を立てて実行

生徒（87%）、保護者（59%）、教員（74%）と保護者の肯定的な回答が低くなっています。生活や学習の目標や計画を立てることをNEJO LIFE等を活用して実践しているところです。実践後の評価やアドバイス等をしっかりとやっていきます。

★学習面でのサポート

生徒（95%）、保護者（76%）、教員（81%）と生徒はサポートについて満足しています。成績下位の生徒への指導や工夫した学習の取り組みをさらに進めます。

★家庭学習習慣の確立

生徒（75%）、保護者（57%）、教員（59%）と家庭学習習慣については課題があります。宿題等の出し方を工夫します。家庭においては、上手な時間の使い方と認めて、褒めて・励まして、やる気を育てていくことをお願いします。

★将来の職業についての学習

生徒（83%）保護者（66%）、教員（66%）と生徒の職業への意識が低いと考えています。キャリア教育を通して自己理解と価値観をもたせるとともに、職業体験や職業についての知識を得ることで将来について考えられるようにしていきます。

★相談できる環境づくり

生徒（89%）、保護者（86%）、教員（78%）となっています。11%の生徒が否定的な回答となっており、全生徒が気軽に安心して相談できる環境づくりが必要と考えます。学級担任をはじめ、学校全体で一人一人の理解と関わりを大事にしていくとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの一層の活用を図ります。

★学校行事等における生徒の活躍の場の確保

生徒（85%）、保護者（89%）と昨年より上がったものの、教員の回答が67%と低くなっています。教員は活躍できる場を更につくることと、生徒の意欲を高めていくことを進めます。

★いじめの防止

生徒（95%）、保護者（76%）、教員（93%）と保護者の回答が低くなっています。生徒、保護者への対応をさらにきめ細かく丁寧に行うとともに、保護者との情報共有を進めます。